

大学間の連携強化により、地域や世界の課題解決に繋がる取組を推進  
**室蘭工業大学、宮崎大学と包括連携協定を締結**



宮崎大学で行われた協定締結式(前列左・服部 島根大学長、前列右・鮫島 宮崎大学長)



室蘭工業大学で行われた協定締結式(中央左・服部 島根大学長、中央右・空閑 室蘭工業大学長、一番右・清水一道教授)

島根大学では、これまでに国内の5大学と包括連携協定を締結し、学生交流をはじめ、お互いの強みや特色を活かした取組を進めています。新たに、8月28日に室蘭工業大学と、9月1日に宮崎大学と包括的連携に関する協定を締結しました。

**室蘭工業大学  
材料研究分野において  
研究活動の加速を**

室蘭工業大学との協定締結は、2023年4月に本学に設置した材料エネルギー学部、クロスアポイントメント制度により室蘭工業大学の清水一道教授が着任され、その縁から実現したものです。室蘭工業大学が所在する室

蘭市は鉄の街として知られており、同大学が持つ鋳物のノウハウを活かした製品開発や素材の確認・評価に強みを持っています。一方、島根大学は、航空機のエンジンに使われる超耐熱合金など先端金属素材の研究開発に力を入れており、これらの高い研究成果を生み出していきます。

また、学生交流も積極的に推進し、学生には、お互いに異なる特性を持った地域間の交流を行うことで、多様な体験を通じて感性を養い、豊かな人間性が身に付くことを期待します。8月28日に室蘭工業大学で行われた協定締結式で本学の服部学長は、「伝統と研究の蓄積がある室蘭工業大学と

連携していくことは材料科学研究の大きな力となる」と述べ、室蘭工業大学の空閑学長は「材料や素材の関係で本学が持つノウハウと島根大学が持つ力をうまく協働させ、まずは研究面から活動が活発になることを期待している」と話しました。

**宮崎大学  
エネルギー分野を強化  
教育・研究の質向上を図る**

宮崎大学は、全国でも日射量が多い県に立地してい



宮崎大学の地域デザイン棟にて。

るといふ地理的特性を活かし、太陽光発電などの再生可能エネルギー分野の研究に強みを持っています。宮崎大学との連携により、本学において今後GX(グリーン)トランスフォーメーション)を推進する際の重要なパートナーとして、お互いの強みや特色を活かした共同研究を進め、地域や世界のエネルギー課題解決につなげます。

また、宮崎大学では、県内企業や自治体と連携して取り組む「みやざき産業人材育成教育プログラム」修了者に対して、県内企業の就職試験等におけるインセンティブを付与するなど、県内企業の協力を得ながら県内就職率向上を目指しています。本学でも、宮崎大学の取組を参考に、同様の取組を今年度から実施しています。

指します。

9月1日に宮崎大学の地域デザイン棟において開かれた協定締結式では、服部学長が「地域で同じ課題を抱え学部構成も近い大学同士が連携することで、教育や研究の機能強化に大きな期待を感じている」と述べ、鮫島宮崎大学長は、「宮崎大学と島根大学は、距離的に離れているが、少子高齢化や若者の県外流出といった地方都市としての共通する課題は多い。それらの課題に対する両大学の取組を共有し、意見交換を重ねることで、より良い教育プログラムの開発や地域との連携につなげていきたい」と抱負を語りました。

今回協定を締結した2大学とは、距離的に離れた大学間だからこそ、互いに異なる強み・特長を活かすことにより、革新的なイノベーションや価値創造を促進していきます。



室蘭工業大学ものづくり基盤センターにて。

